

事業番号	04 05 08	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	住民支え合い活動支援事業			担当課	部局	健康福祉部
					課・室	地域福祉課
<参考> 総合5か年 計画	プロジェクト			E-mail	chiiki-fukushi@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 3 福祉を支えるサービス体制の充実		実施期間	H20 ~	

1 事業の概要

目指す姿	新たな地域の支え合い体制づくりのために、災害時だけでなく、平常時から地域の要援護者等の生活課題解決のための行政や住民組織等の協働のネットワークによる取り組みの推進を図るとともに、地域の活動を推進する人材の養成支援を行い、地域住民が障害の有無や年齢にかかわらず自分らしく安心して生活できる地域社会づくりの推進を図る。		
現状	災害時住民支え合いマップづくりを進めた結果、73市町村がマップ策定に取り組み、災害時要援護者の避難者支援、地域の支え合い活動への意識醸成などの成果が得られた。		
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		
	【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助を有効活用しながら支援することが効果的である。 セーフティネット支援対策等事業費補助金交付要綱、社会福祉法第107条、第108条(地域福祉計画)		

事業内容	① 成果目標(H24)					
	過疎・中山間地域を抱えるマップ未作成市町村等に対し支援を行う。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H24事業実績	H24 (当初)	H24 (決算)
	住民支え合い支援事業	補助金	・過疎・中山間地域を抱えるマップ未作成市町村等に対する支援 ・地域支え合い活動の協力員養成 ・支え合いマップ活用事例集の作成	9,917	9,927	9,969
	合計			9,917	9,927	9,969

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算	11,363	10,091	9,917	9,969
	補正予算			10	
	合計(A)	11,363	10,091	9,927	9,969
	国庫支出金	5,213	5,029	4,958	4,984
	県債				
	その他()				
	一般財源	6,150	5,062	4,969	4,985
	決算額(B)	10,427	10,090	9,927	
概算職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	
概算人件費(C)	2,495	2,477	2,477	2,477	
概算事業費(B(A)+C)	12,922	12,567	12,404	12,446	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25目標
		目標	成果	達成状況	
支援を行った過疎・中山間地域を抱えるマップ未作成市町村等	—	4	4	達成	—

目標に対する成果の状況	目標どおり4市町村に対し、災害時住民支え合いマップ作成や支え合い体制構築等の支援を行った。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 74市町村が災害時住民支え合いマップ策定に取り組んでいる一方で、地域福祉計画を策定する市町村が4割ほどにとどまるなど、地域福祉を推進する基盤整備が依然として課題となっている。 今後、誰もが安心して生活できる基盤を構築するため、市町村地域福祉計画策定に係る支援を行うとともに、地域福祉コーディネーターをはじめとした専門職の養成など、計画的・総合的に地域福祉実践が行われるモデルを構築したい。
------------------	--